

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

農林課

1 施設の概要等

施設名	府中市羽高湖森林公園		
所在地	広島県府中市諸毛町字二反田		
設置目的	すぐれた自然環境にある山林を保護するとともに、市民の健康増進及び余暇の活用を図ることを目的とする。		
施設・設備	羽高湖、多目的広場、林間キャンプ場、キャンプファイヤー場、休憩所、野外ステージ、駐車場、炊飯場、水遊場		
指定管理者	R4.4.1	～	R5.3.31 一般社団法人府中市まちづくり振興公社

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	16,000 人	20,097 人	6,951 人	4,097 人	125.6%	%
R5	人	人	人	人		%	
R6	人	人	人	人		%	
R7	人	人	人	人		%	
R8	人	人	- 人	人		%	
増減理由	コロナ禍によるイベント中止等が無くなり、令和元年度ベースで再開されたため利用者は増加している。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	キャンプ利用者等を中心にアンケート調査を実施	施設利用者92名
	【主な意見】	【その対応状況】
	当キャンプ場を選んだ理由:料金が安い30%、景色が良い37%、フリーサイト20%	キャンプ場の基本構想及び令和5年度に実施する民間を含めた公募要件にアンケート結果を反映する。
施設の改修等:トイレ25%、シャワー16%、看板・案内標識13%	多目的トイレを整備した。	

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	徴収計算書等
	日報(必要随時)	○	設備の破損故障等随時
管理運営会議		【特記事項等】	
1 回 会場 公社事務所		利用状況や不具合修繕状況についての報告・提案をし、意見交換協議を行った。	
現地調査 (実施月)		【指定管理者の意見】	
1月 2月 3月 4月 5月		修繕発生時や運営に疑義が生じた都度に会議を実施している。	
6月 7月 8月 9月 10月		【市の対応】	
○ ○ ○ ○ ○		設備の破損等が生じた場合は、現地調査を実施。	
11月 12月			
○ ○			

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	4,782	181		R4	0	0
R5			R5				
R6			R6				
R7			R7				
R8		-	R8		-		

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R3決算額	R4決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	4,601	4,782	181	
	料金収入	0	0	0	
	その他収入	0	153	153	電気料金等支援金
	計(A)	4,601	4,935	334	
	支出				
	人件費	3,216	2,989	-227	人件費見直しによる減
	光熱水費	664	801	137	電気料金高騰
	設備等保守点検費	144	137	-7	
	清掃・警備費等	0	0	0	
施設維持修繕費	157	245	88	補修用重機借り上げによる増	
事務局費	183	469	286	ネット予約システム費用等の増	
その他支出	209	267	58	諸経費の増	
計(B)	4,573	4,908	335		
収支①(A-B)	28	27	-1		
自主事業	収入(C)	0	0	0	
支出(D)		0	0		
収支②(C-D)	0	0	0		
合計収支(①+②)	28	27	-1		

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	<p>コロナ感染症の基準緩和により、3年ぶりにほぼ通常の施設運営となり、対前年比で利用者数は伸びたが、併せて光熱水費など施設管理経費も増加している。</p> <p>キャンプ場利用について、ネット予約システムを導入したことでスムーズな予約管理が行えるようになった。</p> <p>当該施設は、市の方針により令和5年度から府中市観光協会に管理が移管する。</p>	<p>イベントの再開等に伴い、施設利用者数がコロナ以前の状況に戻ることに加え、キャンプブームの継続もあり、利用者は伸びてきている。</p> <p>キャンプ利用者数の増加に伴うネット予約システムの導入、地元雇用による運営が行われており、評価できる。</p> <p>日常の施設管理も十分行われている。</p> <p>コロナ感染症の基準緩和後の対策を踏まえ、民間のアイデアやノウハウを導入し、利用促進、誘客に向けた取組が必要である。</p>

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	<p>キャンプブーム継続でキャンプ利用者数は高止まると見込まれる。</p> <p>併せて、イベントも開催されることから、一定数の利用者も見込まれる。</p> <p>施設については、トイレ棟の新設など整備されるものもあるが、炊飯場、水遊場など老朽化が見られ、使用中止している設備もあるため、一般的に修繕が必要な時期がきている。</p> <p>管理者が変更となるので運用面とともにハード面も強化が必要。</p>	<p>民間のアイデアやノウハウを導入し、更なる利用者の獲得を目指すため、令和5年度は、令和6年度からの民間管理を見据えて、(一財)府中市まちづくり振興公社から(一社)府中市観光協会に管理者を移管することとした。</p> <p>施設の老朽化による修繕が必要な時期が来ていることは確認できており、市として計画的な修繕を検討する。</p>